

令和3年3月立山町議会定例会一般質問通告概要

(R3.3.4～18)

※質問順番

1番	佐藤	康弘	議員
2番	石田	孝夫	議員
3番	後藤	智文	議員
4番	村上	紀義	議員
5番	澤井	峰子	議員
6番	岡田	健治	議員
7番	平井	久秋	議員
8番	荻生	義明	議員
9番	髪口	清隆	議員

1番 佐藤 康弘 議員

(1) 町政の課題と今後の展開について

①第10次立山町総合計画について

新しい総合計画の「町の将来像」に込めた思いや、今後特に重視していく点は何か。また、地方創生の第2次総合戦略が策定されたが、今後どのような点に力を入れていくのかを問う。

②新年度予算の編成方針について

新型コロナの影響などで町税の大幅な減収が見込まれる中、新年度予算の編成にあたって、特に重視したことや配慮したことは何か。また、借金である町債残高の見通しや貯金にあたる財政調整基金の状況など将来の町財政の見通しについて問う。

(2) 災害対策

①大雪時の対応と課題について

数十年ぶりの大雪に見舞われ、町民は大変な不便と不安な状況に置かれた。町ではどのように対応したのか、また、今後の教訓としてどのような改善につなげていくのかを問う。

②(仮称)防災センター構想について

新しい総合計画の中に(仮称)防災センターの整備が上げられており、基本設計費が計上されている。この防災センターの整備の狙いや、必要な機能、整備スケジュールについて問う。

(3) 新型コロナウイルス対策

①ワクチン接種について

現在、新型コロナ対策として、病院関係者にワクチン接種が行われている。自治体において高齢者から順次ワクチン接種が進められる予定と聞く。町では、どのような体制で行うとしているのか、今後のスケジュールも含め問う。

②社会・経済対策について

新型コロナの感染防止対策として、人の移動の自粛や外食の制限などが求められている。国では、新型コロナ感染症に対応するため数次にわたり地方創生臨時交付金が確保され、各自治体

に配分されている。町では、この交付金を活用して各種対策を実施しているが、今後の取り組みについて、問う。

(4) 情報化への対応

①行政のデジタル化への対応について

情報通信技術の発展により、様々な場面でITやAIを活用した取り組みが進められている。自治体でもこうした技術を住民サービスの向上や業務の効率化に活用することが期待される。町では、今後、行政サービスのデジタル化にどのように取り組もうとしているのか、問う。

②学校教育での対応について

国のGIGAスクール構想により児童生徒に1人1台の端末と、高速大容量の通信ネットワーク環境の整備が進められている。こうした情報環境で、一人一人の教育内容の充実が期待される。町教育委員会では、こうした環境のもとで、どのような授業や教育を進めていこうとしているのか、教員の対応能力の向上対策と併せて問う。

(5) 人口対策

①子育て環境の充実について

町では、これまでも子育て世帯への支援策の充実に努めてきたが、これまでの成果と課題を踏まえ、今後どのような取り組みを進めていくのか。また、町中心部に新しく児童館を整備することのだが、児童館整備のねらいとその財源、整備スケジュールについて、併せて問う。

②移住・定住対策の推進について

新型コロナウイルスの都市部での感染拡大により、地方勤務やテレワークでの業務が注目されている。こうした機会に、首都圏等に向けて本町の魅力を積極的にPRし、移住促進を働きかけていくべきである。町では、今後、移住定住の促進に向けどのような取り組みを進めようとしているのか、問う。

(6) 新しい室の設置

①空き家対策の推進について

近年、町内各地に管理されていない空き家や空き地が増えており、周辺住民に不安を与えている。新年度から新しい室「美しいまちづくり推進室」を設置し、集中的に空き家・空き地問題に対応することのだが、どのような取り組みを進めようとしているのか、問う。

②地球温暖化対策の推進について

昨年、地球環境問題に対応するため、二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の宣言をされた。町では、これまでも公共施設等に再生可能エネルギーの導入を進めてきたが、新しい室ではこの問題も所管すること。この宣言の実現を図るため、町として今後、具体的にどのような取り組みを進めていくのか、問う。

2番 石田 孝夫 議員

(1) ワクチン接種について

①中山間地の高齢者の方も町民会館で接種になるのか。

②各校下に接種会場を設けることはしないのか。

- ③医療従事者の確保はできているのか。
- ④一日の接種目標は何人で、何日間で終える予定か。
- ⑤接種するメリット・デメリットは。
- ⑥アナフィラキシーショックへの対応は。
- ⑦本人がワクチン接種を拒否した方への対応は。
- ⑧かかりつけ病院の医師による接種を希望することはできないのか。
- ⑨接種会場に行けない方への対応は。
- ⑩接種会場の当日の接種担当医師の氏名は事前に公表されるのか。

(2) シンボルロードの早期開通について

災害時には立山町総合公園は避難所として長期間の避難ができる最適な立地条件です。シンボルロードに繋がる橋は栃津川の氾濫に耐えられる強度の橋を架けるべきではないか。シンボルロード野沢交差点に上段地区自治振興会より町要望として信号機を取り付けてほしいと希望されているが、信号機が無理ならばラウンドアバウト（ロータリー）の交差点に改良することで暴走車の速度を落とすことができるのではないか。

(3) 屋敷林について

道路にせり出した民家の樹木により通行障害を起こしたり、せり出した樹木で自動車に傷がつくことがある。トラブルにならないよう所有者にせり出した樹木の管理をするよう指導はしているのか。多額の費用がかかるため伐採できずに悩んでいる方がいる。助成金を検討している自治体があるが立山町も伐採処理費用の補助金を検討しては。

(4) 養豚場・養鶏場の臭いについて

- ①なぜ臭いが改善されないのか。
- ②どうしたら臭いを抑え込むことができるのか。
- ③被害地域は広範囲に及んでいることから、各集落で改善に向けた取り組みについて説明会を開いてほしい。

3番 後藤 智文 議員

(1) 町中心部公共施設再配置計画について

① (仮称) 防災センターについて

1. 現在の町民会館大ホールは750席あるが、そこから350席にする根拠は何か。
2. 会議室は10人程度の2室と計画されている。町民が気軽に集う場所としては少ないと思うがどうか。
3. 防災スタッフ詰所にシャワーが設置される予定だが、舟橋会館内にあるような町民ニーズが高い福祉風呂を設置してはどうか。災害時にも活躍できると思うがどうか。

② 児童館について

1. 児童館は18歳以下の子供たちを対象に、親と子が集える場所として考えるが、どんなイメージを想定しているか。
2. 現在の子育て支援センターの規模に対して、計画された新児童館は半分以下になる。現状は小学生まで利用しているが、幼児と小学生の部屋を分けて使用させている。また、遊具の

ある部屋などは朝と昼とに分けて使用させている。計画では遊戯室1室になっていて、部屋数が少ないと思われるがどうか。

3. 児童館は18歳以下の子供たちを対象にしていることから、様々なことが体験できる場が必要になる。しかし、計画では遊戯室一つしかない。そこで、防災センターのホールの椅子は可動式であり、兼ね合いが想定されていることから、子供たちが体を十分動かせる空間、バスケットボールなどができる体育館の機能を持たせたらどうか。そしたら高校生までが集える場所になる。

(2) 大雪に対する町の対策について

- ① 1月の35年ぶりの大雪の教訓をどうとらえているか。
- ② 除雪態勢を築くのに苦労されていると思うが、担い手確保、費用面の公的支援の在り方が問われている。毎年行われる除雪態勢の維持に向けてどのように取り組むのか。
- ③ 集合団地内は除雪した雪を排出する場所がなく、道路をふさぐ形で除雪が進められ、歩行さえままならない場合がある。自然災害で仕方がない面もあるが、一刻も早く排雪できるような計画をたてるべきではないか。
- ④ 今回の大雪では、ひとり暮らしの高齢者に対して、緊急的に消防団などが玄関などの除雪を手伝ったが、災害弱者対策が求められる。十分ではないが富山市社会福祉協議会が組織しているボランティア「おらっちゃ雪かき隊」みたいなものがないか。

(3) 「お試し型サテライトオフィス」について

地域経済活性化を目的として旧新川保育所を「お試し型サテライトオフィス」に改修する予算が計上してある。どんな会社を想定し、成功する見込みはあるのか。

(4) 新型コロナ対策について

- ① 新型コロナワクチンについて、国の動向もあるが、町民はワクチン接種のスケジュールが気になっている。わかる範囲で今後のスケジュールを示していただきたい。
- ② 来年度予算の中でいつものように様々な行事が予定されている。例えば、立山祭りやどんどん祭り、また、オリンピック聖火リレーなどがある。これらは三密にならざるを得ないものばかりであり、感染対策が難しいと思われる。今の時点で考えられる対策について伺う。

(5) 地域おこし協力隊について

- ① 様々な地域おこし協力隊員がいるが、最初のころは、どんなことをしたか報告されていたが、今はよくわからない。一体何人の隊員がいて何の仕事をしているのか。
- ② 自伐型林業は町長肝いりで取り組まれたが、順調に進んでいるのか。もし問題があれば支援の手を差し伸べているか。
- ③ 来年度、グリーンパーク吉峰に、2名の農業研修生の予算が計上され、農業の担い手と期待されている。担い手として成長できる支援をどう考えているか。

(6) 高齢者支援について

高齢者等タクシー、バス運賃助成ポイントで、中心部から離れた地域では使い勝手が悪い。そこで、以前、助成ポイントで「立山町民お気軽パス」に使用できるようにとの答弁があったが、どうなったか。

4番 村上 紀義 議員

(1) 福祉について

安心社会と特色あるまちづくり

- ①認知症高齢者が絡む事故が増えている。また、運転免許証の返納等で無保険となっている本人や家族に多額の損害賠償金を請求されたこともあると聞く。認知症本人や家族にとって安心して住めるような支援制度と地域社会づくり施策が必要と思うが。
- ②コロナ禍の影響で雇用情勢の悪化から失業を余儀なくされ、生活の困窮から生活保護申請が増加傾向にあると聞くが、受給資格があるにも関わらず、扶養照会がネックとなり捕捉率が20%と言われている。
 1. 町民がためらわずに気安く相談しやすい窓口体制が必要と思うが。
 2. 相談件数の現状について伺う。
- ③高齢者が最期まで住み慣れた地域で生活できるように、医療、介護、介護予防、生活の支援などのサービスを一体的に提供できる地域包括ケアシステムの中で生活支援コーディネーターは重要な役割を担っている。2025年問題を前に今後の活動も重視されている。本町におけるこれまでの取り組みと活動成果について伺う。
- ④やっとワクチン接種が始まったが、終息の先がまだ見えないコロナ禍。感染拡大予防に対しての必要な情報提供が欲しい。
 1. 町としてワクチン接種の必要性を町民の心に響く形でPRしなければならないと思うが推奨について伺う。
 2. コロナ禍が長期化し経済回復が遅れば、町民の心理的抑圧の深刻化が懸念されるが、町の対応を伺う。
 3. コロナ禍で外出が少なくなり、フレイルになることが懸念される。高齢者は一度弱った運動機能や認知機能をもとに戻すことはなかなか難しいと聞く。感染予防と健康維持の対応を伺う。
 4. 単身世帯の高齢者や障がいのある方など、要援護者等の除雪困難者把握は地区の民生委員が中心となって行っている。本年は大雪にみまわれ、見守り活動や除雪作業等大変な作業であり過大な負担になったと思う。見守り・除雪における自助・共助・公助について見解を伺う。

(2) 農業について

意欲ある担い手の育成を

- ①農業を基幹産業として今後も振興していくには、農業を本業とし得る魅力と、頑張れば所得向上に結びつく施策が必要不可欠だと思う。安定的な農業所得を確保する経営者感覚を有する人材育成をするとともに、地域農業生産の相当部を担う農業構造の確立が必要と思う。町が今後も重点的に取り組むべき担い手育成をどのように捉えているのか伺う。
- ②人員の確保が出来ない等の理由から農地管理作業に支障が生じ、多面的支払制度からやむなく離脱する活動組織がある。農道や用水路等、農村環境維持が途切れ、組織活動としての継続が困難になりつつあるのでは。多面的支払制度の現状を鑑み今後の在り方を真剣に考える時期とも思うが、町の見解を伺う。

③近年、遊休地をはじめ道路の法面、路肩等に外来種のセイタカアワダチソウが繁茂する。管理不十分な農地など、今やいたる所で群生し、場所によっては交通の妨げになっている所もある。農家はもとより早期の除草対策が必要とするが町の見解を伺う。

(3) 水道事業について

水道事業はライフラインの一つとして町民の日常生活に必要な不可欠なものであり、自然災害時をはじめとし、いかなる時でも安全な水として安定供給され、命を守る重要な役割を果たしている。

- ①本町における年間漏水件数と修理状況及び漏水量、修理費用について伺う。
- ②料金改定が行われた中で現年度収納率は99.3%と高い数値であるが、滞納もあると云うが滞納原因の理由と対応について伺う。
- ③コロナ禍の影響も重なり、生活に困窮している家庭が徐々に増加していると聞く。やむなく水道料金の滞納が長期となった場合、水道課としての対応は。給水停止はあるのか。また、妊産婦や乳幼児を抱えた世帯等について減免処置はあるのか。福祉関係者等と事前に情報の共有を持って、適切な支援処置対応はされているのかを伺う。
- ④一定の条件で漏水による水道料金の減免申請制度があると周知されているか、また回数制限について伺う。
- ⑤人口減少の到来や節水型社会への移行。産業構造の変化に伴い水道事業収入も将来的に減少傾向になるのでは。水道事業ビジョンを伺う。

5番 澤井 峰子 議員

(1) 新型コロナウイルス感染症対策について

①ワクチン接種について

1. 現段階での町の体制やスケジュール、また町民がおおよその見通しができるわかりやすい周知をと考えるが対策を伺う。
 2. 介護従事者への対応、町に住所をおいたまま町外に住んでいる方や町外に住所をおいたまま町内に住んでいる方の対応を伺う。
 3. 会場での障害者の特性に応じた配慮が求められているがその対策を伺う。
- ②コロナ禍による緊急小口資金等の特例貸付の状況と償還の据置期間が令和4年3月末まで延長されたことにもなう町の対応を伺う。町の見解を伺う。

(2) コロナ禍での学校行事、高校生台湾派遣について

昨年、コロナ禍により様々な学校行事を断念せざるをえなかった現状を踏まえ、子供たちの貴重な体験ができるようリモート等を活用した代替の対応を是非お願いしたい。町の見解を伺う。

(3) 防災・減災について

- ①女性活躍推進・男女共同参画の観点から立山町防災会議の場に女性委員の比率を高めるべきではと考えるが。町の見解を伺う。
- ②今後、防災センターの役割は重要であり、施設の充実を期待する。他の自治体には体験型の施設やかまどベンチの設置などがある。町としてはどのような構想かを伺う。

- ③自主防災組織を中心に、県や防災士会等と連携し、地区防災計画を推進すべきと考えるが町の見解を伺う。
- ④立山町公式 LINE の更なる周知について、雄山高校の生徒や小中学校の保護者へ新年度に合わせて PR を。

(4) 子育て支援について

- ①子ども医療費受給資格証は子供が中学 3 年生まで対象のため、現在の紙媒体では劣化しやすく、今後なんらかの改善が必要であると考えます。カード化やマイナンバーとの連携等、是非、富山広域連携中枢都市圏構想へ働き掛け、対策をと思うが町の見解を伺う。
- ②産後ヘルパーの詳細について伺う。
- ③保育所の途中入所が困難となっている現状を踏まえ町の対策を伺う。

6 番 岡田 健治 議員

(1) 移動スーパーの軽四トラック「らいじい号」の運行・営業状況の未来は

町が購入した移動スーパー「らいじい号」の事業実態はどうか。

町外の事業所では個人事業主の売れ残った商品をまた引き取り、店で販売するというシステムでリスクが少なく、事業主も安心して仕入れることが出来るとのことある。

2 年目を迎えた立山町での営業状況はどうなのか、収支の実態を問う。

黒字でなければ、3 年の試行期間が過ぎる令和 4 年度以降のテコ入れをどのようにするか問う。

(2) 国の重要文化財や町指定文化財で地域おこしやインバウンド観光に開放を

石原松次郎が、26 人もの弟子とともに建てた雄山神社前立社檀本殿を始め、国指定文化財 14 点、越中芦峯寺古文書など県指定文化財 15 点、さらには町指定文化財が 50 点、他に地域の獅子舞も一覧表に拠ると 14 点が存在する。

一時期「菊薫る文化の町」と謳った立山町ではあったが、これらの文化財が眠っているのではないか。これらを生かし、町おこし、地域おこしが出来ないかを問う。

五百石駅舎・在原医館など歴史的建造物が消え今また、岩峯寺駅舎の話もちらほら聞こえる。文化財の保存や史跡の保存、そして活用の取組みを強化できないか。伝統の祭や民俗芸能は、地域の継承すべき宝である。地区の魅力を生かし町の活性化に観光と連携を図ることはできないか。

(3) 病院誘致・産婦人科誘致について

立山町でも「選ばれる町づくり」を推進してきた経過があるが、直接の子育て世代の移住促進が重要である。

産婦人科の誘致・進出のハードルは、高額な機器設備である。

なんらかの補助制度とともに、10 年ぐらいの固定資産税の減免が必要だと思うが、良い制度や手立てはないか。

(4) たてポカード事業の進捗状況と 20 倍キャンペーンの成果と今後の道筋について

20倍キャンペーン等により、順調に推移していると思うが現在の加入者と加盟店の状況を問う。

たてポカードを使える店舗が少なく、若者が使える店舗が少ない。

立山町でも、何らかの施策により、カードの普及、加盟店の増加に取り組むべきではないか。商工会・商業協同組合双方あげて、取り組んでいただき、成果を期待したいがどうか。

(5) パソコン・タブレットの更新は安物買いの銭失いになったのでは

新型コロナ感染症対策のもと、学校では家庭での学習にも役立てて貰うために、中古のタブレットが導入された。当初はとても迅速で評判もよかったが、じきに、使いこなせる父兄の居る家庭からは、性能などの苦情の声が出てきた。今、新型に買い替えるに至ったが前品の使い方や使い道に方策はあるか問う。

(6) 工業地域・準工業地域の前に県道・町道の整備促進を

池田課長は、本年3月をもって退任、前職に復帰される予定と聞いているが、2年間にわたる町の建設行政、道路行政はどうだったか。

地籍調査・空き家対策そして都市計画道路の見直し等を展開してこられた感想や苦労などをお聞かせください。

また、昨年から都市計画道路の見直しや、都市計画での用途地域の設定など、順調に進んでいるが、接続の道路路線の拡幅や、右左折の交差点内の整備などは、企業や工場の進出前に、進めてもらいたいものだが、どうか。

7番 平井 久秋 議員

(1) 安心・安全について

①令和元年9月議会でも質問させていただいたが、今回は前回に加え学校周辺の改善を含むものである。追加点は、相撲場東側の変則道路の直線化と、校門前から東中野新に向かう急カーブの改善である。将来的な学校統合を踏まえ、広域通学によるスクールバス、父兄の送迎車の増加は、目に見えている。今でさえ、冬季を中心としたとした安全確保がされていない中で、子どもたちの安全確保を考えた場合、先を見据えた改善を強く望むが、いかがか。

②県道立山水橋線、岩嶽駐在所横から、下田丁字路交差点までは、児童の通学路である。しかし、道路両側に用水があり、北に向かう左側は、川幅も広く、水量も多い。冬場を中心に年中危険にさらされている。下田側は、左右が水田で、農耕車の出入口以外は、川がむき出しであるため、是非落下防止柵の設置を望む。

(2) 移住・定住について

コロナ禍で、東京一極集中が見直される中で、国土交通省は「二地域居住」を推進する協議会を、この3月に発足させる。601の自治体と29の関係団体が参加の予定だが、アフターコロナを踏まえ、わが町の対応はどうか、伺う。

また、いきなりの移住にハードルが高いと思う人が気軽に体験できる「おためし民泊」などを町が企画してはどうであろう。町内各地の空家を活用し平場から山間地に数カ所用意し、田舎暮らしを体験してもらおう。それで移住・定住の参考や足がかりにしてもらえればと思うがいかが

か。

(3) 雇用について

コロナ禍が治まらない中で、雇用の不安や、雇い止め、失業者が増えている。

- ①現在、町の失業者、雇用情勢はどのようになっているのか、伺う。
- ②現在、県内8つの消防署、消防組合では立山、氷見を除いた6つの消防署、組合に女性消防士がいる。災害避難所では、女性消防士の存在が、高齢者、子供などの安心感につながるという。現在の職員定数の中では、厳しいと思うが、せめて職員採用案内で募集の情報を出せばと思うが、いかがか。
- ③障害者雇用の法定雇用率が、3月1日からすべて0.1ポイント引き上げられ、国や自治体では2.6%になった。昨年の決算委員会では一人足りないとのことであったが、来年度はどのようになるのか。民間よりも積極的に採用を考えるべきと思うが、いかがか。

(4) 基幹産業の農業について

今年は里雪型の大雪になり、県内各地で積雪による農業被害が見受けられた。

- ①町内での被害状況は、ハウス以外の被害状況はどうか。また支援体制については、どうか。
- ②米の生産が中心のわが町だが、外食産業の倒産や利用減により、21年産米の生産数量は前年比で2.2%減になる。町として消費拡大に今まで以上に地産地消を進めてほしいと思うが、いかがか。
- ③今後の農業経営で、最も活用が期待される中の一つに、ドローンがある。最近では集落営農だけでなく、個人農でも活用されてきている。しかし、他の農業機械と違い、毎年高額の更新費用が義務付けられており、メンテナンスなどの努力で経費削減できるものではなく、農家にとってその負担は大きい。国の補助以外に町独自の補助体制があれば、さらに省力化に弾みがつくと思うが、いかがか。

(5) 景観条例について

「とやまビューポイント」の追加指定候補30地点のうち、わが町から5地点も候補にあがった。それだけわが町には、素晴らしい自然景観が多いということだろう。これは町の景観条例などによる賜物である。しかし条例9条の区域指定を見ると、抽象的で、町内すべての地点が当てはまるような感じだ。この条例により建築物の新築、増改築などで、過度に制約を受ける地域が出ているところもあると思うが、把握されているのか。景観維持と地域の発展、開発はどちらも大切である。指定の変更、解除などは可能なのか、伺う。

8番 荻生 義明 議員

(1) 地域おこし協力隊

新年度に農業研修生を募集するとありました。

近年、農業者の高齢化や後継者問題、遊休農用地及び耕作放棄田の増加など、農業生産の維持が難しい状況にある中で、この企画は良いと思います。移住、定住の推進にもつながると思います。

2月19日で受付が終わりましたが、2名の定員とありました。応募状況と今後の計画を問う。

(2) 子育て支援

現在、ひとり親家庭に支援をされていますがコロナ禍の中、就労が大変な状況となっている世帯が多くあるようですが、その様な家庭に対しさらなる支援を町として検討してはいかがでしょうか。

(3) 有害鳥獣対策

- ①有害鳥獣に対する令和2年度の被害について被害額、被害状況は、どのような状況か、またそれらをふまえて、新年度の対策や対応をどのように計画をしているのかを問う。
- ②有害鳥獣焼却施設を富山地区広域圏事務組合が立山町地内で計画されていますがどのような施設が計画されているのかを問う。

9番 髪口 清隆 議員

(1) 観光振興について

令和2年に、地方創生推進交付金を活用して「立山グランドデザイン」が策定され、今年は立山黒部アルペンルート全線開通50周年を迎える。

- ①令和3年から、この立山グランドデザインを基に様々な取り組みをされるが、具体的な内容や期間は。
- ②立山町に住んでいても、立山黒部アルペンルートに訪れたことがない人もいます。アルペンルート町民の日を設けたり、町民専用バスの運行があればと思うが。

(2) 成人式について

令和4年4月から成年年齢を18歳に引き下げる改正民法が施行される。

- ①このままいくと、令和5年1月の成人式は3学年分が対象となり、混乱が予想される、町としての改善策は。
- ②1月の大雪で成人式を中止や延期したところもあり、開催時期の変更を検討している自治体もあると聞く、町としての考えは。

(3) 有害鳥獣対策について

富山地区広域圏事務組合で有害鳥獣焼却施設整備が計画されている。

- ①現在の進捗状況は。
- ②施設整備に伴い、白岩～目桑間に設置される耐雪型恒久柵の支援内容は。